



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant : Yoshitaka Ukita et al.

Serial No.: 09/919,272

Filed : July 31, 2001

For : REPRODUCTION APPARATUS AND
REPRODUCTION METHOD

I hereby certify that this paper is being
deposited this date with the U.S. Postal
Service in first class mail addressed to
Assistant Commissioner for Patents,
Washington, D.C. 20231.

Jay H. Maioli
Reg. No. 27,213

Date
October 16, 2001

October 16, 2001
1185 Avenue of the Americas
New York, NY 10036
(212) 278-0400

CLAIM FOR PRIORITY AND DOCUMENT SUBMISSION

Assistant Commissioner of Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231

Sir:

A claim for priority under the provision of 35 USC 119
is hereby entered in the above-identified application.

In support thereof enclosed is a certified copy of
Japanese Patent Application No. P2001-207659 filed on July 9,
2001.

Entrance of the priority claim is solicited.

Respectfully submitted,
Cooper & Dunham LLP

Jay H. Maioli
Jay H. Maioli
Reg. No. 27,213

File No. : 7217/65185
JHM:ma
Enc.



2014/12/12 US'00
SER No. 09/919,272

本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2 0 0 1 年 7 月 9 日

出 願 番 号

Application Number:

特願 2 0 0 1 - 2 0 7 6 5 9

出 願 人

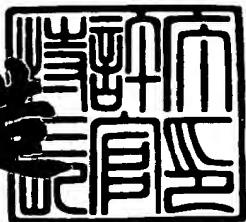
Applicant(s):

ソニー株式会社

2 0 0 1 年 8 月 3 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特 2 0 0 1 - 3 0 6 9 2 8 3

【書類名】 特許願

【整理番号】 0100590906

【提出日】 平成13年 7月 9日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 宇喜多 義敬

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 入江 健志

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代理人】

【識別番号】 100082131

【弁理士】

【氏名又は名称】 稲本 義雄

【電話番号】 03-3369-6479

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000-235166

【出願日】 平成12年 8月 3日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 032089

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9708842

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報処理装置及び方法、再生装置及び方法、並びにプログラム格納媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 使用期限に関するデータを含むコンテンツデータと、時刻に関する第1の情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段により記憶されている前記第1の情報が示す時刻を基準とした経過時間を測定することにより時刻に関する第2の情報を生成する生成手段と、

所定のタイミングで前記記憶手段に記憶されている前記第1の情報を、前記生成手段により生成された前記第2の情報に更新する更新手段と

を含むことを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】 前記更新手段は、電力の消費が低減されるモードに移行したとき、前記第1の情報を前記第2の情報に更新する

ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】 前記記憶手段により記憶されている前記コンテンツデータの使用が指示されたとき、そのコンテンツデータの使用期限に関するデータが示す期限を過ぎているか否かを、前記第2の情報を用いて判断する判断手段をさらに含むことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項4】 前記生成手段は、電力の供給が停止され、再び供給が開始された場合、前記記憶手段により記憶されている前記第1の情報を読み出し、その読み出した第1の情報を基準とした経過時間を測定することにより前記第2の情報を生成する

ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項5】 前記生成手段は、電力の供給が停止され、再び供給が開始された場合、前記記憶手段により記憶されている前記第1の情報を読み出し、その読み出した第1の情報を基準とした経過時間を測定することにより前記第2の情報を生成する

ことを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項6】 使用期限に関するデータを含むコンテンツデータと、時刻に

に関する第1の情報の記憶を制御する記憶制御ステップと、

前記記憶制御ステップの処理で記憶されている前記第1の情報が示す時刻を基準とした経過時間を測定することにより時刻に関する第2の情報を生成する生成ステップと、

所定のタイミングで前記記憶制御ステップの処理で記憶が制御された前記第1の情報を、前記生成ステップの処理で生成された前記第2の情報に更新する更新ステップと

を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項7】 使用期限に関するデータを含むコンテンツデータと、時刻に関する第1の情報の記憶を制御する記憶制御ステップと、

前記記憶制御ステップの処理で記憶されている前記第1の情報が示す時刻を基準とした経過時間を測定することにより時刻に関する第2の情報を生成する生成ステップと、

所定のタイミングで前記記憶制御ステップの処理で記憶が制御された前記第1の情報を、前記生成ステップの処理で生成された前記第2の情報に更新する更新ステップと

を含むことを特徴とするコンピュータが実行可能なプログラムが格納されているプログラム格納媒体。

【請求項8】 期限管理されたメインデータの再生を行いバッテリーで動作する再生装置において、

前記期限管理されたメインデータを記憶するメインデータ記憶手段と、

前記メインデータの期限管理をするための期限管理データを記憶する期限管理データ記憶手段と、

前記バッテリーで動作し時間を計時する計時手段と、

前記バッテリーからの電力の供給が無い間においても計時された時間情報を保持する保持手段と、

前記計時手段が計時する時間情報を所定時刻に前記保持手段に保持されるように前記保持手段を制御する制御手段と

を含むことを特徴とする再生装置。

【請求項9】 前記制御手段は、前記バッテリーからの電力の供給が途絶えた後にバッテリーからの電力の供給が再開された場合、前記保持手段により保持された時間情報に基づいて前記計時手段による計時が再開されるように制御することを特徴とする請求項8に記載の再生装置。

【請求項10】 前記制御手段は、前記期限管理データ記憶手段により記憶された前記期限管理データに基づいて前記メインデータの再生を許可することを特徴とする請求項8に記載の再生装置。

【請求項11】 前記メインデータの再生の許可は、前記期限管理データ記憶手段に記憶された前記期限管理データと前記計時手段により計時される時間情報とにに基づいて判断される

ことを特徴とする請求項10に記載の再生装置。

【請求項12】 前記制御手段は、所定のタイミングで前記時間情報が前記保持手段に保持されるように制御する

ことを特徴とする請求項8に記載の再生装置。

【請求項13】 前記保持手段は、前記時間情報を所定時間毎に保持することを特徴とする請求項12に記載の再生装置。

【請求項14】 前記制御手段は、低消費電力モードに移行するときに前記時間情報が前記保持手段に保持されるように制御する

ことを特徴とする請求項12に記載の再生装置。

【請求項15】 ユーザにより操作される操作手段をさらに備え、

前記操作手段によるユーザの操作が所定時間無い場合、所定の回路ブロックへの電源供給を抑える前記低消費電力モードに入る

ことを特徴とする請求項14に記載の再生装置。

【請求項16】 前記計時手段は、前記低消費電力モードにおいても前記バッテリーからの電力によって計時を継続し、

前記制御手段は、前記低消費電力モード中に所定の時間毎に前記計時手段が継続して計時している時間情報を前記保持手段が保持するように制御する

ことを特徴とする請求項15に記載の再生装置。

【請求項17】 他の装置と通信を行うための接続手段を
さらに備え、

前記制御手段は、前記接続手段によって前記他の装置と接続された場合、前記
他の装置から送信される時間情報に基づいて、前記計時手段の計時を調整する
ことを特徴とする請求項8に記載の再生装置。

【請求項18】 前記計時手段の計時の調整は、前記計時手段の計時より前
記接続される他の装置の時間情報が進んでいる場合に行われる
ことを特徴とする請求項17に記載の再生装置。

【請求項19】 期限管理情報に基づいて期限管理されたメインデータの再
生を行い、バッテリーで駆動する再生装置において、

前記期限を管理するための時刻を計時し、前記バッテリーから電力が供給され
ている間だけ動作する計時手段と、

前記バッテリーから電力の供給が前記計時手段に無い間、前記計時手段が計時
した時刻を保持する保持手段と、

前記期限管理情報と前記計時手段が計時する前記時刻情報とに基づいて前記メ
インデータの再生を制御する制御手段と
を備えることを特徴とする再生装置。

【請求項20】 前記メインデータと前記期限管理情報を記録した記録媒
体から前記メインデータと前記期限管理情報を読み出すためのデータアクセス
手段を

さらに備えることを特徴とする請求項19に記載の再生装置。

【請求項21】 期限管理されたメインデータをバッテリーを電源として再
生する再生方法において、

前記バッテリーからの電源で動作するとともに、前記バッテリーからの電源の
供給が無い場合に計時を停止するタイマーから、前記メインデータの期限を管理
するための時刻情報を読み取って前記バッテリーからの電源の供給が無い場合に
もデータを保持する不揮発性メモリに書き込む書き込みステップと、

前記バッテリーからの電源の供給が無くなった後に、再度電源の供給が行われ
たときに、前記不揮発性メモリに書き込まれた時刻情報を前記タイマーに設定す

る設定ステップと
を備えることを特徴とする再生方法。

【請求項22】 前記期限管理されたメインデータの再生の指示があった場合に、前記メインデータの再生期限を管理する管理データと前記タイマーの計時する時刻に基づいて再生の可否を判定する判定ステップを
をさらに備えることを特徴とする請求項21に記載の再生方法。

【請求項23】 前記時刻情報の前記不揮発性メモリへの書き込みは低消費電力モードへ移行するときに行われる
ことを特徴とする請求項21に記載の再生方法。

【請求項24】 前記時刻情報の前記不揮発性メモリへの書き込みは所定時間毎に行われる
ことを特徴とする請求項21に記載の再生方法。

【請求項25】 接続される他の装置から送られる時刻情報の受信を制御する受信制御ステップを

さらに備え、
前記設定手段は、前記受信制御ステップの処理で受信が制御された前記時刻情報に基づいて前記タイマーを設定し直す
ことを特徴とする請求項21に記載の再生方法。

【請求項26】 前記タイマーの時刻情報の設定は、前記タイマーの生成する時刻よりも前記他の装置から受信された時刻情報が進んでいる場合に行われる
ことを特徴とする請求項25に記載の再生方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は情報処理装置及び方法、再生装置および方法、並びにプログラム格納媒体に関し、特に、期限の制限があるコンテンツを再生する装置に用いて好適な情報処理装置及び方法、再生装置および方法、並びにプログラム格納媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、パーソナルコンピュータなどの情報処理装置において、所定のネットワークを介して、EMD (Electrical Music Distribution) サーバにアクセスし、音楽データなどのコンテンツを、そのEMDサーバから受信することにより、聴取できるといったサービスが普及しつつある。このようにして配布されるコンテンツの中には、例えば、宣伝用に、所定期間内だけ聴取が許可されることを条件に、無料で配布されるコンテンツもある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

上述したような聴取の期限が制限されているコンテンツを扱う装置は、その期限を管理するために、時計機能を備える必要がある。また、電池の交換などのときに、電力の供給が一時的に停止されるような場合があり、そのような場合に備えて、電力供給のバックアップ機能を備える必要もある。

【0004】

しかしながら、電力供給のバックアップ機能を備えるためには、バックアップを必要とする部分と、必要としない部分とで電源系の結線を別に設計する必要があり、その為に回路構成が複雑になり回路の小型化が困難であるといった課題があった。

【0005】

また、電力供給のバックアップ電源として交換可能な1次電池を用いた場合、交換中にバックアップできる時間を超過してしまい、時刻情報が消えてしまうといったような不都合が生じることが考えられる。

【0006】

本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、コンテンツと時刻情報を記憶し、その時刻情報を所定のタイミングで更新するようにし、その記憶されている時刻情報をコンテンツの期限の管理に用いることにより、バックアップ電源を備えない装置においても期限の制限があるコンテンツが不正に聴取されるようなことを防ぐことを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明の情報処理装置は、使用期限に関するデータを含むコンテンツデータと、時刻に関する第1の情報を記憶する記憶手段と、記憶手段により記憶されている第1の情報が示す時刻を基準とした経過時間を測定することにより時刻に関する第2の情報を生成する生成手段と、所定のタイミングで記憶手段に記憶されている第1の情報を、生成手段により生成された第2の情報に更新する更新手段とを含むことを特徴とする。

【0008】

前記更新手段は、電力の消費が低減されるモードに移行したとき、第1の情報を第2の情報に更新するようにすることができる。

【0009】

前記記憶手段により記憶されているコンテンツデータの使用が指示されたとき、そのコンテンツデータの使用期限に関するデータが示す期限を過ぎているか否かを、第2の情報を用いて判断する判断手段をさらに含むようにすることができる。

【0010】

前記生成手段は、電力の供給が停止され、再び供給が開始された場合、記憶手段により記憶されている第1の情報を読み出し、その読み出した第1の情報を基準とした経過時間を測定することにより第2の情報を生成するようにすることができる。

【0011】

本発明の情報処理方法は、使用期限に関するデータを含むコンテンツデータと、時刻に関する第1の情報の記憶を制御する記憶制御ステップと、記憶制御ステップの処理で記憶されている第1の情報が示す時刻を基準とした経過時間を測定することにより時刻に関する第2の情報を生成する生成ステップと、所定のタイミングで記憶制御ステップの処理で記憶が制御された第1の情報を、生成ステップの処理で生成された第2の情報に更新する更新ステップとを含むことを特徴とする。

【0012】

本発明のプログラム格納媒体のプログラムは、使用期限に関するデータを含むコンテンツデータと、時刻に関する第1の情報の記憶を制御する記憶制御ステップと、記憶制御ステップの処理で記憶されている第1の情報が示す時刻を基準とした経過時間を測定することにより時刻に関する第2の情報を生成する生成ステップと、所定のタイミングで記憶制御ステップの処理で記憶が制御された第1の情報を、生成ステップの処理で生成された第2の情報に更新する更新ステップとを含むことを特徴とする。

【0013】

本発明の第1の再生装置は、期限管理されたメインデータを記憶するメインデータ記憶手段と、メインデータの期限管理をするための期限管理データを記憶する期限管理データ記憶手段と、バッテリーで動作し時間を計時する計時手段と、バッテリーからの電力の供給が無い間においても計時された時間情報を保持する保持手段と、計時手段が計時する時間情報を所定時刻に保持手段に保持されるよう保持手段を制御する制御手段とを含むことを特徴とする。

【0014】

前記制御手段は、前記バッテリーからの電力の供給が途絶えた後にバッテリーからの電力の供給が再開された場合、前記保持手段により保持された時間情報に基づいて前記計時手段による計時が再開されるように制御するようにすることができる。

【0015】

前記制御手段は、前記期限管理データ記憶手段により記憶された前記期限管理データに基づいて前記メインデータの再生を許可するようにすることができる。

【0016】

前記メインデータの再生の許可は、前記期限管理データ記憶手段に記憶された前記期限管理データと前記計時手段により計時される時間情報とにに基づいて判断されるようにすることができる。

【0017】

前記制御手段は、所定のタイミングで前記時間情報が前記保持手段に保持されるように制御するようにすることができる。

【0018】

前記保持手段は、前記時間情報を所定時間毎に保持するようにすることができる。

【0019】

前記制御手段は、低消費電力モードに移行するときに前記時間情報が前記保持手段に保持されるように制御するようにすることができる。

【0020】

ユーザにより操作される操作手段をさらに備え、前記操作手段によるユーザの操作が所定時間無い場合、所定の回路ブロックへの電源供給を抑える前記低消費電力モードに入るようになることができる。

【0021】

前記計時手段は、前記低消費電力モードにおいても前記バッテリーからの電力によって計時を継続し、前記制御手段は、前記低消費電力モード中に所定の時間毎に前記計時手段が継続して計時している時間情報を前記保持手段が保持するように制御するようにすることができる。

【0022】

他の装置と通信を行うための接続手段をさらに備え、前記制御手段は、前記接続手段によって前記他の装置と接続された場合、前記他の装置から送信される時間情報に基づいて、前記計時手段の計時を調整するようにすることができる。

【0023】

前記計時手段の計時の調整は、前記計時手段の計時より前記接続される他の装置の時間情報が進んでいる場合に行われるようになることができる。

【0024】

本発明の第2の再生装置は、期限を管理するための時刻を計時し、バッテリーから電力が供給されている間だけ動作する計時手段と、バッテリーから電力の供給が計時手段に無い間、計時手段が計時した時刻を保持する保持手段と、期限管理情報と計時手段が計時する時刻情報とにに基づいてメインデータの再生を制御する制御手段とを備えることを特徴とする。

【0025】

前記メインデータと前記期限管理情報とを記録した記録媒体から前記メインデータと前記期限管理情報を読み出すためのデータアクセス手段をさらに備えるようにすることができる。

【0026】

本発明の再生方法は、バッテリーからの電源で動作するとともに、バッテリーからの電源の供給が無い場合に計時を停止するタイマーから、メインデータの期限を管理するための時刻情報を読み取ってバッテリーからの電源の供給が無い場合にもデータを保持する不揮発性メモリに書き込む書き込みステップと、バッテリーからの電源の供給が無くなった後に、再度電源の供給が行われたときに、不揮発性メモリに書き込まれた時刻情報をタイマーに設定する設定ステップとを備えることを特徴とする。

【0027】

前記期限管理されたメインデータの再生の指示があった場合に、前記メインデータの再生期限を管理する管理データと前記タイマーの計時する時刻に基づいて再生の可否を判定する判定ステップをさらに備えるようにすることができる。

【0028】

前記時刻情報の前記不揮発性メモリへの書き込みは低消費電力モードへ移行するときに行われるようになることができる。

【0029】

前記時刻情報の前記不揮発性メモリへの書き込みは所定時間毎に行われるようになることができる。

【0030】

接続される他の装置から送られる時刻情報の受信を制御する受信制御ステップをさらに備え、前記設定手段は、前記受信制御ステップの処理で受信が制御された前記時刻情報に基づいて前記タイマーを設定し直すようにすることができる。

【0031】

前記タイマーの時刻情報の設定は、前記タイマーの生成する時刻よりも前記他の装置から受信された時刻情報が進んでいる場合に行われるようになることができる。

【0032】

本発明の情報処理装置および方法、並びにプログラム格納媒体においては、記憶されている第1の情報が示す時刻を基準とした経過時間を測定することにより時刻に関する第2の情報が生成され、所定のタイミングで第1の情報が、生成された第2の情報に更新される。

【0033】

本発明の第1の再生装置においては、期限管理されたメインデータが記憶され、メインデータの期限管理をするための期限管理データが記憶され、バッテリーで動作し時間が計時され、バッテリーからの電力の供給が無い間においても計時された時間情報が保持され、計時する時間情報が所定時刻に保持されるように制御される。

【0034】

本発明の第2の再生装置においては、期限を管理するための時刻が計時され、バッテリーから電力が供給されている間だけ動作され、バッテリーから電力の供給が無い間、計時した時刻が保持され、期限管理情報と計時された時刻情報とに基づいてメインデータの再生が制御される。

【0035】

本発明の再生方法においては、バッテリーからの電源で動作するとともに、バッテリーからの電源の供給が無い場合に計時を停止するタイマーから、メインデータの期限を管理するための時刻情報を読み取ってバッテリーからの電源の供給が無い場合にもデータを保持する不揮発性メモリに書き込まれ、バッテリーからの電源の供給が無くなった後に、再度電源の供給が行われたときに、不揮発性メモリに書き込まれた時刻情報がタイマーに設定される。

【0036】

【発明の実施の形態】

図1は、本発明に係るオーディオデータ管理システムの一実施の形態を示す図である。パーソナルコンピュータ1は、ローカルエリアネットワークまたはインターネットなどから構成されるネットワーク2に接続されている。パーソナルコンピュータ1は、EMDサーバ4-1, 4-2, 4-3から受信した、または後述

するCD(Compact Disc)から読み取ったオーディオのデータ、すなわちコンテンツを、例えば、ATRAC3(Advanced Transform Acoustic Coding)(トレードマーク)等の所定の圧縮方式に変換するとともにDES(Data Encryption Standard)などの暗号化方式で暗号化して記録する。

【0037】

なお、以下の説明において、EMDサーバ4-1, 4-2, 4-3を個々に区別する必要がない場合、単にEMDサーバ4と記述する。また、他の装置においても同様に記述する。

【0038】

パーソナルコンピュータ1は、暗号化して記録しているコンテンツに対応して、コンテンツの利用条件を示す利用条件のデータを記録する。利用条件のデータは、例えば、その利用条件のデータに対応するコンテンツを同時に3台のポータブルデバイス6-1, 6-2, 6-3で利用できる、コピーすることができる、他のパーソナルコンピュータに移動することができるなどを示す。

【0039】

パーソナルコンピュータ1は、暗号化して記録しているコンテンツを、接続されているポータブルデバイス6に記憶させるとともに、ポータブルデバイス6に記憶させたことに対応して、記憶させたコンテンツに対応する利用条件のデータを更新する。この動作をチェックアウトと称する。また、パーソナルコンピュータ1は、接続されているポータブルデバイス6に記憶されているコンテンツを、ポータブルデバイス6に消去させて、消去させたコンテンツに対応する利用条件のデータを更新する。この動作をチェックインと称する。

【0040】

EMD登録サーバ3は、パーソナルコンピュータ1がEMDサーバ4からコンテンツの取得を開始するとき、パーソナルコンピュータ1の要求に対応して、ネットワーク2を介して、パーソナルコンピュータ1とEMDサーバ4の相互認証に必要な認証鍵をパーソナルコンピュータ1に送信するとともに、必要な場合EMDサーバ4に接続するためのプログラムをパーソナルコンピュータ1に送信する。

【0041】

EMDサーバ4は、パーソナルコンピュータ1の要求に対応して、ネットワーク2を介して、パーソナルコンピュータ1にコンテンツを送信によって供給する。EMDサーバ4-1, 4-2, 4-3の、それが供給するコンテンツは、同一または異なる圧縮の方式で圧縮されている。また、EMDサーバ4-1, 4-2, 4-3の、それが供給するコンテンツは、同一または異なる暗号化の方式で暗号化されている。

【0042】

パーソナルコンピュータ1は、パーソナルコンピュータ1に接続されたCDプレーヤにCDがセットされた場合、セットされたCDの属性やCDに記録されたコンテンツの属性を、ネットワーク2を介して接続されたWWW (World Wide Web) サーバ5-1または5-2から得られるようにされている。

【0043】

つまりWWWサーバ5-1と5-2は、パーソナルコンピュータ1の要求に対応して、ネットワーク2を介して、コンテンツを読み取ったCDの、例えば、CDのアルバム名、またはCDの販売会社など、およびCDから読み取ったコンテンツに対するデータ、例えば、曲名、または作曲者名などをパーソナルコンピュータ1に供給する。

【0044】

ポータブルデバイス6は、パーソナルコンピュータ1から供給されたコンテンツ、すなわち、チェックアウトされたコンテンツを、内部に備えたメモリなどに記憶する。ポータブルデバイス6は、記憶しているコンテンツを再生し、図示せぬヘッドフォンなどに出力する。使用者は、コンテンツを記憶したポータブルデバイス6をパーソナルコンピュータ1から取り外して、持ち歩き、記憶しているコンテンツを再生させて、コンテンツに対する音楽などをヘッドフォンなどで聞くことができる。

【0045】

図2は、パーソナルコンピュータ1の構成を示す図である。CPU (Central Processing Unit) 11は、各種アプリケーションプログラムや、OS (Operating System)を実際に実行する。ROM (Read-only Memory) 12は、一般的には、CPU

11が使用するプログラムや演算用のパラメータのうちの基本的に固定のデータを格納する。RAM (Random-Access Memory) 13は、CPU 11の実行において使用するプログラムや、その実行において適宜変化するパラメータを格納する。これらはCPUバスなどから構成されるホストバス14により相互に接続されている。

【0046】

ホストバス14は、ブリッジ15を介して、PCI (Peripheral Component Interconnect/Interface) バスなどの外部バス16に接続されている。

【0047】

キーボード18は、CPU 11に各種の指令を入力するとき、使用者により操作される。マウス19は、ディスプレイ20の画面上のポイントの指示や選択を行うとき、使用者により操作される。ディスプレイ20は、液晶表示装置またはCRT (Cathode Ray Tube) などから成り、各種情報をテキストやイメージで表示する。HDD (Hard Disk Drive) 21は、ハードディスクを駆動し、それらにCPU 11によって実行するプログラムや情報を記録または再生させる。

【0048】

ドライブ22は、装着されている磁気ディスク41、CDを含む光ディスク42、光磁気ディスク43、または半導体メモリ44に記録されているデータまたはプログラムを読み出して、そのデータまたはプログラムを、インターフェース17、外部バス16、ブリッジ15、およびホストバス14を介して接続されているRAM13に供給する。

【0049】

USB (Universal Serial Bus) ポート23-1、23-2、23-3には、所定のケーブルを介して、ポータブルデバイス6-1、6-2、6-3が接続される。USBポート23は、インターフェース17、外部バス16、ブリッジ15、またはホストバス14を介して、HDD21、CPU 11、またはRAM13から供給されたデータをポータブルデバイス6に出力する。この場合、ポータブルデバイス6に出力されるデータとしては、例えば、コンテンツまたはポータブルデバイス6のコマンドなどが含まれる。

【0050】

スピーカ24は、インターフェース17から供給されたデータ、または、音声信号を基に、コンテンツに対応する所定の音声を出力する。

【0051】

これらのキーボード18、マウス19、ディスプレイ20、HDD21、ドライブ22、USBポート23-1, 23-2, 23-3、およびスピーカ24は、インターフェース17に接続されており、インターフェース17は、外部バス16、ブリッジ15、およびホストバス14を介してCPU11に接続されている。

【0052】

通信部25は、ネットワーク2が接続され、CPU11、またはHDD21から供給された、例えば、登録の要求、またはコンテンツの送信要求などのデータを、所定の方式のパケットに格納して、ネットワーク2を介して、送信する。さらに通信部25は、ネットワーク2を介して、受信したパケットに格納されている、例えば、認証鍵、またはコンテンツなどのデータをCPU11、RAM13、またはHDD21に出力する。

【0053】

通信部25は、外部バス16、ブリッジ15、およびホストバス14を介してCPU11に接続されている。

【0054】

次に、ポータブルデバイス6について説明する。図3にポータブルデバイス6の外観の構成を示す。ポータブルデバイス6は、ほぼ円筒形状でなる筐体ケース50を有し、当該筐体ケース50の周側面に各種操作スイッチや操作ボタンおよび表示部用の表示窓51などが設けられている。

【0055】

ここで、ポータブルデバイス6の表示窓51が設けられた側を正面とした場合、筐体ケース50を軸中心に45度ずつ回転したときのそれぞれの周側面について図4 (A)、(B)、(C)、(D)を参照して説明する。

【0056】

図4 (A)に示すように、筐体ケース50の左側面には、当該筐体ケース50の長手方向の一端側に音量の上限を固定するための音量上限固定スイッチ52が

スライド自在に設けられると共に、USB (Universal Serial Bus) コネクタが収納された図示しない孔部を開閉するようにプラスチック製のUSBコネクタカバー53が設けられている。

【0057】

実際にUSBコネクタカバー53は、USBコネクタの未使用時に孔部を閉塞して筐体ケース50と一体化されることにより、当該USBコネクタを保護している。また、USBコネクタカバー53は、USBコネクタの使用時には孔部を解放することにより当該USBコネクタを、図5に示したUSBケーブル91を介してパーソナルコンピュータ1に接続させ得る。

【0058】

また、図4 (B) に示すように、筐体ケース50の正面には、そのほぼ中央部から一端にかけて、音量アップボタン54、音量ダウンボタン55、早送りボタン56、早戻しボタン57、表示窓51及びシフトボタン58が順次設けられている。また、筐体ケース50の一端面には、再生命令及び停止命令を入力し得る再生／停止ボタン59が設けられている。

【0059】

そして、筐体ケース50の正面においては、表示窓51の下部に設けられた図5に示した表示部85が、各種の操作に応じた表示を行うことにより、その表示内容を表示窓51を介して提示させることができるようになっている。

【0060】

シフトボタン58は、これが押下されたままの状態で早送りボタン56が押下されると、当該早送りボタン56と共に再生モードを切り換えるための操作ボタンとして機能する。またシフトボタン58は、これが押下されたままの状態で早戻しボタン57が押下されると、当該早戻しボタン57と共に音量モードを切り換えるための操作ボタンとしても機能する。

【0061】

さらに、図4 (C) に示すように、筐体ケース50の右側面には、その一端側にホールドスイッチ60がスライド自在に設けられ、当該ホールドスイッチ60を例えば、筐体ケース50の一端側にスライドさせることにより各種操作ボタン

の入力を無効にし、この状態を維持し得るようになっている。

【0062】

これに加えて、図4 (D) に示すように、筐体ケース50の背面には、その一端側に単3サイズの駆動用乾電池61を装着し得る乾電池収納部62が設けられると共に、当該乾電池収納部62を閉塞する蓋部63が着脱自在に取り付けられている。これにより、乾電池収納部62においては、蓋部63が取り外されると内部に駆動用乾電池61を装着し、または、当該内部から駆動用乾電池61を取り出すことができ、また内部に駆動用乾電池61が装着された状態で蓋部63が取り付けられると、当該蓋部63により駆動用乾電池61を脱落することを防止して保持するようになっている。

【0063】

また、筐体ケース50の背面には、その一端側にヘッドホンジャック64を保持するジャック保持部65と、当該筐体ケース50をユーザの上着の胸ポケットなどに取り付けるためのクリップ66とケース長手方向に沿って並設されると共に、当該ジャック保持部65とクリップ部66との隣接部分で、かつポータブルデバイス6の重心からずれた所定の位置に環状のストラップ金具67が設けられている。

【0064】

このストラップ金具67は、筐体ケース50の背面に対してジャック保持部65に接する姿勢からクリップ部66に接する姿勢までのほぼ180度の範囲内で自在に回動し得るようになされており、当該ストラップ金具67を起こすことにより各種のストラップを容易に取り付け、または、取り外すことができるようになっている。

【0065】

ここでポータブルデバイス6においては、ハードディスクドライブなどのように、機械的な記録再生機構を有する記録再生装置とは異なり、図5に示すように内部の半導体フラッシュメモリ80に対して、パソコンコンピュータ1から供給されたデータとしてデジタル音楽コンテンツC1を記録再生することにより、振動が加えられるような環境下でも、再生の一時的な中断などを生じさせること

なくデジタル音楽コンテンツC1の音楽データD1を再生し得るように構成されている。

【0066】

次に、ポータブルデバイス6の内部構成について、図5を参照して説明する。ポータブルデバイス6は、駆動用乾電池61から供給される電源電圧を電源回路71で所定の電圧の内部電力に変換してCPU(Central Processing Unit)72や各種の回路ブロックに供給することにより、装置全体を駆動する。

【0067】

このポータブルデバイス6は、USBコネクタ73を介してパソコンコンピュータ1とUSBケーブル91で接続された場合、当該パソコンコンピュータ1からバルク転送されたデジタル音楽コンテンツC1をUSBコントローラ74により内部バス75を介してCPU72へ供給する。

【0068】

ここで、デジタル音楽コンテンツC1は、そのフレーム構成として1パケットあたり64(Byte)でなり、12(Mbit/sec)の転送レートでパソコンコンピュータ1から転送される。そして、デジタル音楽コンテンツC1は、図6に示すように、ヘッダH1と音楽データD1とから構成されている。ヘッダH1には、“ファイルID”、“ヘッダサイズ”、暗号化用の“コンテンツキー”、“ファイルサイズ”、“コーデックID”、“ファイル名”及び“ファイル情報”が格納されているとともに、再生制限処理に必要な再生制限情報として、“再生制限データ”、“再生開始日”、“再生終了日”、“再生可能回数”及び“実再生回数”が格納されている。

【0069】

実際上ヘッダH1においては、格納されている情報は、それぞれ16進数で表される。図7に示すように、“ヘッダサイズ”はヘッダH1のデータ長を表しており、この場合33バイトとされている。“ファイルサイズ”は音楽データD1のファイルのデータ長を表しており、この場合33636138バイトとされている。また、“コンテンツキー”は、図6に示した音楽データD1に対する暗号化を解くための暗号データであり、実際上パソコンコンピュータ1及びポータブル

ルデバイス6の間でデジタル音楽コンテンツC1の授受が行われる際に、共通のセッションキーでさらに暗号化された状態で転送される。

【0070】

実際に、パーソナルコンピュータ1とポータブルデバイス6とが接続された場合、当該ポータブルデバイス6はパーソナルコンピュータ1によって認証を受ける必要があり、その場合パーソナルコンピュータ1とポータブルデバイス6との間では、例えば、チャレンジレスポンス方式の認証が行われる。因みに、ポータブルデバイス6では、DSP (Digital Signal Processor) 76がチャレンジレスポンス方式の認証を行う際の暗号解読処理を担っている。

【0071】

ここで、チャレンジレスポンス方式の認証とは、パーソナルコンピュータ1が生成する所定の値であるチャレンジに対して、ポータブルデバイス6がパーソナルコンピュータ1と共有している秘密鍵を使って生成した値としてレスポンスで応答する認証であり、チャレンジが毎回変わるため、レスポンスを盗聴されても再利用される危険はなく安全に相互認証することができる認証方式である。

【0072】

“コードックID”は、ポータブルデバイス6でデジタル音楽コンテンツC1の音楽データD1を再生する場合の伸張方式に対応したID番号である。ID番号“1”に対してはATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding) 3と呼ばれるデータ圧縮方式に応じた伸張方式が割り当てられ、ID番号“0”に対してはMP3 (MPEG Audio Layer-3) と呼ばれるデータ圧縮方式に応じた伸張方式が割り当てられている。

【0073】

“ファイル名”は、デジタル音楽コンテンツC1の例えば、ファイル名“ABCD.AAC”をASCII (American National Standard Code for Information Interchange) コードに変換したデータである。また、“ファイル情報”は、デジタル音楽コンテンツC1の曲名、アーティスト名、作詞家名及び作曲家名などをASCIIコードに変換したデータである。

【0074】

“再生制限データ”は、ポータブルデバイス6で再生するデジタル音楽コンテンツC1に再生可能期間または再生可能回数の再生制限が付加されているか否かを示すデータであり、再生可能回数に制限があるときのみ“1”が割り当てられ、再生可能期間に制限があるときのみ“2”が割り当てられ、再生制限がない、例えば、買い取り等で購入されたデジタル音楽コンテンツC1のときには“0”が割り当てられる。

【0075】

“再生開始日”及び“再生終了日”は、“再生制限データ”が“2”であるときに、再生可能期間の範囲を示すデータであり、例えば、“00040F”及び“00070F”的データによって、“2000年4月15日”乃至“2000年7月15日”が再生可能期間の範囲であることを示す。

【0076】

同様に“再生可能回数”及び“実再生回数”は、“再生制限データ”が“1”及び“2”であるときに、予め規定された再生可能な最多回数と、再生処理を実行したときにCPU72によって更新される実際の更新回数を示すデータであり、例えば、各々が“02”及び“01”的データによって、“再生可能回数”が“2”回で現時点での“実再生回数”が“1”回であることを示している。

【0077】

因みに、再生可能回数にのみ再生制限が付加されたデジタル音楽コンテンツC1のヘッダH1は、例えば、図8に示すように、“再生制限データ”が“1”を示し、“再生開始日”及び“再生終了日”が“000000”及び“000000”で、“再生可能回数”及び“実再生回数”が“0a”及び“05”となる。すなわち、“再生開始日”及び“再生終了日”による再生可能期間の制限がなく、“再生可能回数”が“10”回で、そのうち現在の“実再生回数”が“5”回であることを示している。

【0078】

ところで、ポータブルデバイス6は、パソコン用コンピュータ1からデジタル音楽コンテンツC1と共に、当該デジタル音楽コンテンツC1の書き込み命令が転送されており、CPU72がRAM77に書き込み命令を受け取ると、ROM78からR

AM77に読み出したメインプログラムに従って、フラッシュメモリコントローラ79を制御することにより、デジタル音楽コンテンツC1を半導体フラッシュメモリ80に書き込む。

【0079】

半導体フラッシュメモリ80には、デジタル音楽コンテンツC1のうち、所定の圧縮方法でデータ圧縮された音楽データD1に対応した伸張方式で当該音楽データD1を再生するための再生用コードが予め格納されている。従って、ポータブルデバイス6は、ユーザによる再生／停止ボタン59の押下操作に応じた再生命令が操作キーコントローラ81を介してCPU72に与えられると、当該CPU72により半導体フラッシュメモリ80から再生用コードと、デジタル音楽コンテンツC1の音楽データD1を読み出し、DSP76の図示しないRAMへ転送する。

【0080】

DSP76は、半導体フラッシュメモリ80から転送された再生用コードに基づいて、デジタル音楽コンテンツC1の音楽データD1をCRC (Cyclic Redundancy Check) 方式によって誤り検出した後に伸張し、再生し、これをD/A (Digital/Analog) 変換器82に供給する。

【0081】

D/A変換器82は、再生した音楽データD1をアナログの音楽信号に変換し、これを増幅器83に送出する。増幅器83は、音声信号を所定のレベルに増幅した後に、ヘッドホンジャック64から図示しないヘッドホンへ出力することにより、当該ヘッドホンを介して再生した音楽をユーザに提供する。

【0082】

ポータブルデバイス6は、CPU72によってLCD (Liquid Crystal Display) コントローラ84を制御することにより、再生モード状態、イコライザ調整を行う音質モード、曲番号、再生時間、再生、停止、早送り、早戻しなどの処理状態、音量及び電池残量などの情報を表示部85に表示する。

【0083】

ポータブルデバイス6では、半導体フラッシュメモリ80よりも記憶容量の少ないEEPROM (Electrically Erasable Programmable Read Only Memory) 86に

、半導体フラッシュメモリ80に書き込まれる全デジタル音楽コンテンツC1の曲数、各デジタル音楽コンテンツC1がそれぞれ格納されている半導体フラッシュメモリ80のブロック位置、及び、その他の種々のメモリ情報が格納される。

【0084】

ポータブルデバイス6のRTC(Real Time Clock)87は、時刻をカウントアップし、再生制限が設けられているデジタル音楽コンテンツC1に対する時刻管理を行うために設けられている。バックアップ電源回路88は、RTC87専用の電源であり、ボタン電池などの一次電池や、コンデンサなどが用いられる。このバックアップ電源回路88により、駆動用乾電池61からの電力の供給が停止されたような場合にも、RTC87において、時刻のカウントアップが継続されるようになっている。

【0085】

ポータブルデバイス6の半導体フラッシュメモリ80に記憶されるデジタル音楽コンテンツC1は、まず、図9(A)に示すように、EMDサーバ4からパーソナルコンピュータ1にネットワーク2を通してダウンロードされる。そして、図9(B)に示すように、パーソナルコンピュータ1にダウンロードされたデジタル音楽コンテンツC1が、ポータブルデバイス6の半導体フラッシュメモリ80に供給され、記憶される。

【0086】

この際ポータブルデバイス6は、図9(C)に示すように、パーソナルコンピュータ1に内蔵されている図示しないRTC回路から、時刻に関する年月日を含む時刻情報T1も供給される。この供給された時刻情報T1は、ポータブルデバイス6のEEPROM86に書き込まれる。ポータブルデバイス6は、時刻情報T1と、RTC87のクロックを用いて、再生制限付のデジタル音楽コンテンツC1の時刻管理を行う。

【0087】

ポータブルデバイス6が行う時刻管理は、RTC87が、パーソナルコンピュータ1から供給された時刻情報T1を基準とし、カウントアップしていき、常に最新の時刻情報T11を生成することにより行われる。そして、ユーザから半導体

フラッシュメモリ80に記憶されている再生制限付のデジタル音楽コンテンツC1の再生が指示された場合、RTC87が管理している時刻情報T11と、デジタル音楽コンテンツC1のヘッダH1に記載の“再生終了日”より後の時刻でないか否かが判断され、後の時刻でないと判断されたときのみ、再生が開始される。

【0088】

このようにポータブルデバイス6においても、再生制限付の音楽コンテンツC1の期限を監視し、その監視に基づいて再生を開始する、または、再生を許可しないといった適切な処理を実行することができる。

【0089】

図5に示したように、ポータブルデバイス6にRTC87専用のバックアップ電源回路88を設けることにより、駆動用乾電池61の状態によらず、時刻管理を実行することができる。

【0090】

しかしながら、バックアップ電源回路88は、電荷の保持が必要なため、所定時間を保証する場合、物理的な大きさが必要となり、小型化が困難である。また、RTC87のみのバックアップを行うために、この部分だけ、他の部分とは別の電源系結線の設計が必要となる。仮に、このようなこと考慮し、バックアップ電源回路88を設けた場合においても、バックアップは、無制限に行えるわけではなく、ユーザが電池交換にまごつく、電池を抜いた後にそのままにしておくなどしたために、バックアップを行えないことが考えられる。

【0091】

その結果、RTC87が生成する時刻T11が、初期状態にリセットされることによって、誤った過去の時刻を生成し、そのために利用期間の制限が付いたデジタル音楽コンテンツC1が視聴できなくなるといったような不都合が生じることが考えられる。

【0092】

そこで、図10に示したポータブルデバイス6では、図5に示したポータブルデバイス6からバックアップ電源回路88を削除した構成とし、図11のフローチャートを参照して説明する時刻管理の方法を用いることにより、上述した不都

合を防止することを考える。

【0093】

ステップS1において、図9（C）を参照して説明したように、パーソナルコンピュータ1のRTC回路から、ポータブルデバイス6に対して、デジタル音楽コンテンツC1が供給される際、時刻情報T1も供給される。ポータブルデバイス6は、供給された時刻情報T1を、RTC87にセットすると共に、半導体フラッシュメモリ80に記憶する。RTC87は、セットされた時刻情報T1を基準とし、カウントアップを開始すると共に、そのカウントアップを継続して行うことにより、最新の時刻情報T11を生成し続ける。

【0094】

なお、この時刻のアップデートは、パーソナルコンピュータ1のRTC回路から供給される時刻T1が、RTC87が計時した時刻T11よりも進んでいる場合にのみ、RTC87に時刻T1をセットするようにしても良い。このようにすることで、パーソナルコンピュータ1から供給される時刻T1が過去の時刻を示している場合、誤った時刻にRTC87がセットされることを防止できる。

【0095】

ステップS2において、ポータブルデバイス6がスタンバイ状態であるか否かが判断される。ここで、スタンバイ状態について説明する。ポータブルデバイス6は、駆動用乾電池61の容量を無駄に消費しないために、スタンバイ状態と称される状態が設けられている。

【0096】

具体的に説明するに、ポータブルデバイス6の動作として、再生動作があるが、この再生動作は、再生／停止ボタン59が操作されると、CPU72の制御に基づいて、半導体フラッシュメモリ80に記憶されているデジタル音楽コンテンツC1の音楽データD1を再生することにより行われる、そして、再生中に、再生／停止ボタン59が操作されると、再生を停止する。

【0097】

再生が停止された後に、再生／停止ボタン59が再度操作されると、CPU72の制御に基づき、再生が停止された位置から音楽データD1の再生が再開される

。また、再生が停止された後に、再生／停止ボタン59の無操作の状態が数秒以上経過した時には、電源をオフの状態にし、スタンバイ状態になり、消費電力が低減されるようになっている。

【0098】

ステップS2において、ポータブルデバイス6が上述したようなスタンバイ状態になっているか否かが繰り返し判断されることで常時、監視され、スタンバイ状態になっている、あるいは、スタンバイ状態に切り替わったと判断された場合、ステップS3に進む。ステップS3において、RTC87の時刻情報T11が半導体フラッシュメモリ80に書き込まれて上書きされる。

【0099】

ステップS3における処理が終了されることにより、ステップS4において、半導体フラッシュメモリ80に最新の時刻情報T11が記憶された時点から、6時間が経過したか否かが判断される。ここでは、6時間とするが、何時間に設定しても良い。例えば、CPU72のインターバルタイマを用いて、6時間毎にCPU72が動作状態になるように予め設定しておいてもよい。

【0100】

ステップS4において、6時間経過したと判断された場合、すなわちインターバルタイマによりCPU72が動作状態にされた場合、ステップS3に戻り、RTC87の時刻情報T11の書き込みが行われる。ステップS3における処理は、既に説明したので省略する。

【0101】

一方、ステップS4において、6時間経過していないと判断された場合、ステップS5に進み、再生／停止ボタン59が操作されたか否かが判断される。再生／停止ボタン59が操作されたと判断されたときは、ステップS2に戻り、それ以降の処理が繰り返され、操作されていないと判断されたときは、ステップS4に戻り、それ以降の処理が繰り返される。

【0102】

このように時刻管理を行うことにより、少なくとも、半導体フラッシュメモリ80には、6時間以内の時刻情報T11が記憶されていることになる。図11に

示したフローチャートの処理は、図10に示したバックアップ電源回路88を備えないポータブルデバイス6における時刻管理として説明したが、図5に示したバックアップ電源回路88を備えるポータブルデバイス6における時刻管理に適用しても良い。

【0103】

図10に示したポータブルデバイス6においては、駆動用乾電池61が、交換などにより取り除かれている間は、RTC87によるカウントアップによる時刻T11の生成が一時停止し、さらにはRTC87の時刻情報T11が失われることが考えられる。駆動用乾電池61からの電力の供給が一旦停止され、再び電力の供給が開始された場合、その時点において、CPU72は、図12に示したフローチャートの処理を再び開始する。

【0104】

図12において、ステップS2、ステップS3、ステップS4、ステップS5は、それぞれ図11と同等の処理のため説明は省略する。ステップS11において、半導体フラッシュメモリ80に記憶されている時刻情報T11をCPU87は読み出すようにしている。

【0105】

このように半導体フラッシュメモリ80に時刻情報を記憶するようにし、その記憶されている時刻情報を所定のタイミングにおいて書き換えることにより、電力の供給が停止されたような場合でも、その記憶されている時刻情報を用いることにより、時刻情報を常に取得することが可能である。その時刻情報を用いて、期間の制限が付いているデジタル音楽コンテンツC1の期間管理を行うことにより、不正な聴取を防ぐことが可能となる。

【0106】

また、バックアップ電源を用いない構成とした場合、その回路規模を小型化することが可能となる。さらに時刻管理は、ポータブルデバイス6内部で行われるために、ユーザが外部から時刻情報を変更するなどの不正を防ぐことができる。

【0107】

なお、上述して実施の形態においては、半導体フラッシュメモリ80に時刻情

報を記憶させるとしたが、EEPROM 86に記憶させるようにしても良い。また、上述した実施の形態においては、デジタル音楽コンテンツC1を取り扱う場合を例に挙げたが、他のデータ（例えば、映像データなど）を取り扱う場合にも、本発明を適用することは可能である。

【0108】

また、上述した実施の形態においては、スタンバイの状態になってから、6時間が経過したか否かを判断し、経過したと判断された場合に、半導体フラッシュメモリ80に記憶されている時刻情報を更新するようにしたが、例えば、駆動用乾電池61が装着し直され、一旦供給が停止されていた電力が、再び供給されるようになった時点を基準時刻とし、スタンバイ状態になったか否かに関わらず、その基準時刻から6時間の経過毎に、時刻情報を更新するようにしても良い。このようにした場合において、スタンバイ状態になったときには、6時間の周期の基準時刻を、そのスタンバイ状態になった時刻に更新するようにしても良い。

【0109】

さらに、上述した実施の形態においては、パーソナルコンピュータ1からデジタル音楽コンテンツをダウンロードしたときに、時刻情報T1も供給されたが、ダウンロード以外の時にもポータブルデバイス6とパーソナルコンピュータ1が接続された際、例えば、チェックイン、チェックアウトの際には、パーソナルコンピュータ1からポータブルデバイス6に時刻情報T1が供給され、ポータブルデバイス6の半導体フラッシュメモリ80とRTC87に記憶されている時刻情報が更新されるようにしても良い。

【0110】

上述した一連の処理は、ハードウェアにより実行させることもできるが、ソフトウェアにより実行させることもできる。一連の処理をソフトウェアにより実行させる場合には、そのソフトウェアを構成するプログラムが専用のハードウェアに組み込まれているコンピュータ、または、各種のプログラムをインストールすることで、各種の機能を実行することが可能な、例えば汎用のパーソナルコンピュータなどに、記録媒体からインストールされる。

【0111】

この記録媒体は、図2に示すように、コンピュータとは別に、ユーザにプログラムを提供するために配布される、プログラムが記録されている磁気ディスク41（フレキシブルディスクを含む）、光ディスク42（CD-ROM（Compact Disk-Read Only Memory）、DVD（Digital Versatile Disk）を含む）、光磁気ディスク43（MD（Mini-Disk）（商標）を含む）、若しくは半導体メモリ44などよりなるパッケージメディアにより構成されるだけでなく、コンピュータに予め組み込まれた状態でユーザに提供される、プログラムが記憶されているROM12やHDD21などで構成される。

【0112】

なお、本明細書において、媒体により提供されるプログラムを記述するステップは、記載された順序に従って、時系列的に行われる処理は勿論、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的あるいは個別に実行される処理をも含むものである。

【0113】

また、本明細書において、システムとは、複数の装置により構成される装置全体を表すものである。

【0114】

また、コンテンツデータと再生制限データとが記録されるフラッシュメモリは、必ずしも再生装置内に設けられている必要はなく、再生装置への装着が可能な記録媒体に記憶されていて、再生装置が備える図示しない記録媒体の装着機構とインターフェイスとによってデータの再生が行われるようにしても良い。

【0115】

この場合、再生装置に装着される記録媒体にパーソナルコンピュータ1においてコンテンツデータを記録したときや、記録媒体がパーソナルコンピュータ1に装着されているときに、パーソナルコンピュータ1のRTCが生成する時刻T1を記録しておき、再生装置内のRTC87よりも先の時刻を記録媒体内の時刻が示している場合には、RTC87の時刻T1に修正するようにすることで、再生装置が、パーソナルコンピュータ1と接続されることが無い場合においても、確実に再生装置内のRTC87の再生する時間を先に進めて、より実際の時刻に

近い時刻を生成することが可能となる。

【0116】

【発明の効果】

以上の如く本発明の情報処理装置および方法、並びにプログラム格納媒体によれば、記憶されている第1の情報が示す時刻を基準とした経過時間を測定することにより時刻に関する第2の情報を生成し、所定のタイミングで第1の情報を、生成された第2の情報に更新するようにしたので、第1の情報と第2の情報を用いてコンテンツの使用期限の管理を行うことにより、不正な使用を防ぐことが可能となる。

【0117】

本発明の第1の再生装置においては、期限管理されたメインデータを記憶し、メインデータの期限管理をするための期限管理データを記憶し、バッテリーで動作し時間を計時し、バッテリーからの電力の供給が無い間においても計時された時間情報を保持し、計時する時間情報を所定時刻に保持されるように制御するようにしたので、メインデータの不正な使用を防ぐことが可能となる。

【0118】

本発明の第2の再生装置においては、期限を管理するための時刻を計時し、バッテリーから電力が供給されている間だけ動作し、バッテリーから電力の供給が無い間、計時した時刻を保持し、期限管理情報と計時された時刻情報とに基づいてメインデータの再生を制御するようにしたので、メインデータの不正な使用を防ぐことが可能となる。

【0119】

本発明の再生方法においては、バッテリーからの電源で動作するとともに、バッテリーからの電源の供給が無い場合に計時を停止するタイマーから、メインデータの期限を管理するための時刻情報を読み取ってバッテリーからの電源の供給が無い場合にもデータを保持する不揮発性メモリに書き込み、バッテリーからの電源の供給が無くなった後に、再度電源の供給が行われたときに、不揮発性メモリに書き込まれた時刻情報をタイマーに設定するようにしたので、メインデータの不正な使用を防ぐことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明を適用した情報処理システムの一実施の形態の構成を示す図である。

【図2】

パソコンコンピュータ1の内部構成を示す図である。

【図3】

ポータブルデバイス6の外観の構成を示す図である。

【図4】

ポータブルデバイス6の外観の構成を示す図である。

【図5】

ポータブルデバイス6の内部構成を示す図である。

【図6】

デジタル音楽コンテンツC1のデータ構造を説明する図である。

【図7】

ヘッダのデータ構造を説明する図である。

【図8】

ヘッダのデータ構造を説明する図である。

【図9】

デジタル音楽コンテンツC1のコピーについて説明する図である。

【図10】

ポータブルデバイス6の他の内部構成を示す図である。

【図11】

ポータブルデバイス6において行われる時刻管理について説明するフローチャートである。

【図12】

ポータブルデバイス6において行われる時刻管理について説明するフローチャートである。

【符号の説明】

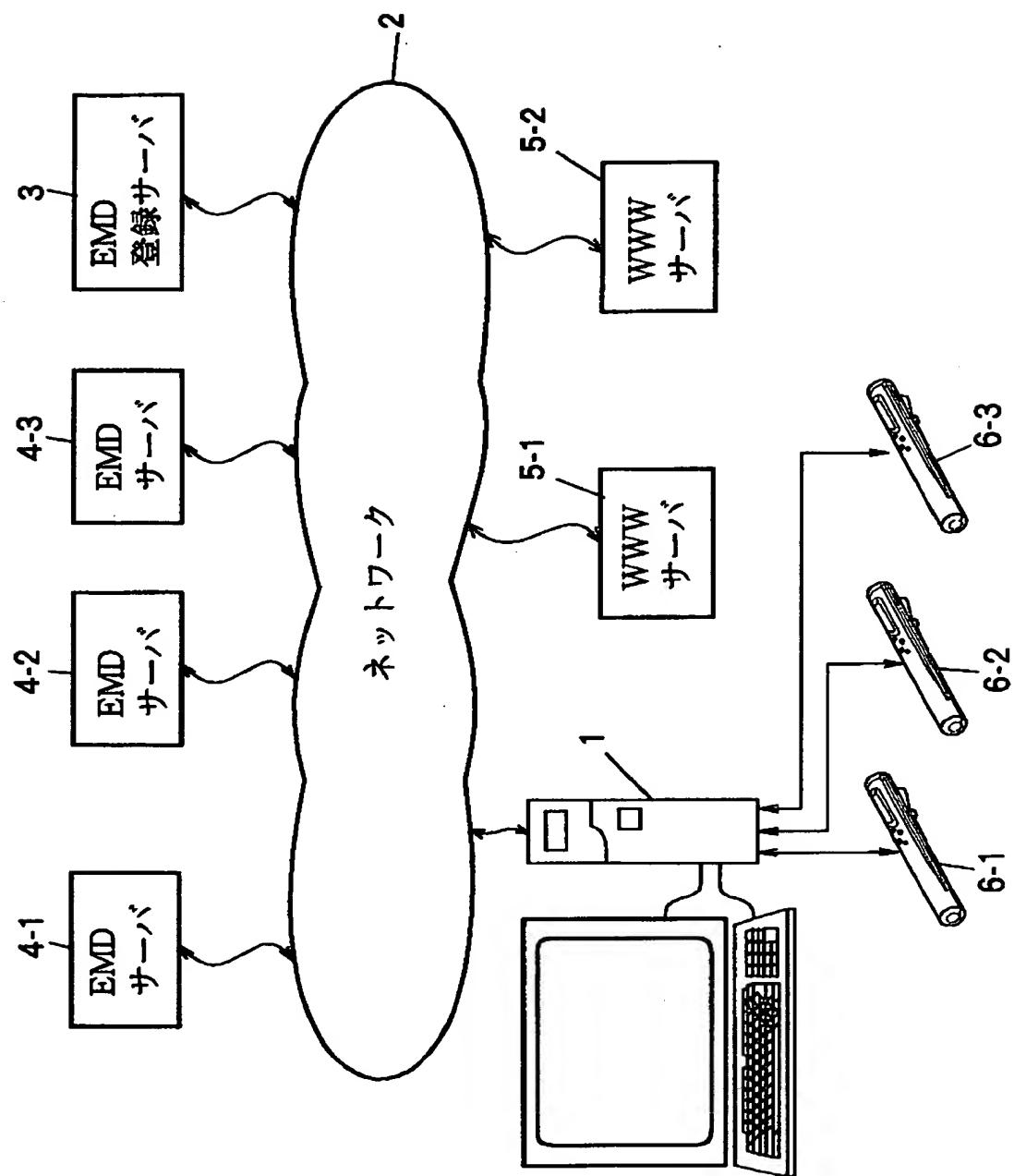
1 パソコンコンピュータ, 2 ネットワーク, 3 EMD登録サーバ,

4 EMDサーバ, 5 WWWサーバ, 6 ポータブルデバイス, 71 電源
回路, 72 CPU, 80 半導体フラッシュメモリ, 86 EEPROM, 8
7 RTC, 88 バックアップ電源回路

【書類名】 図面

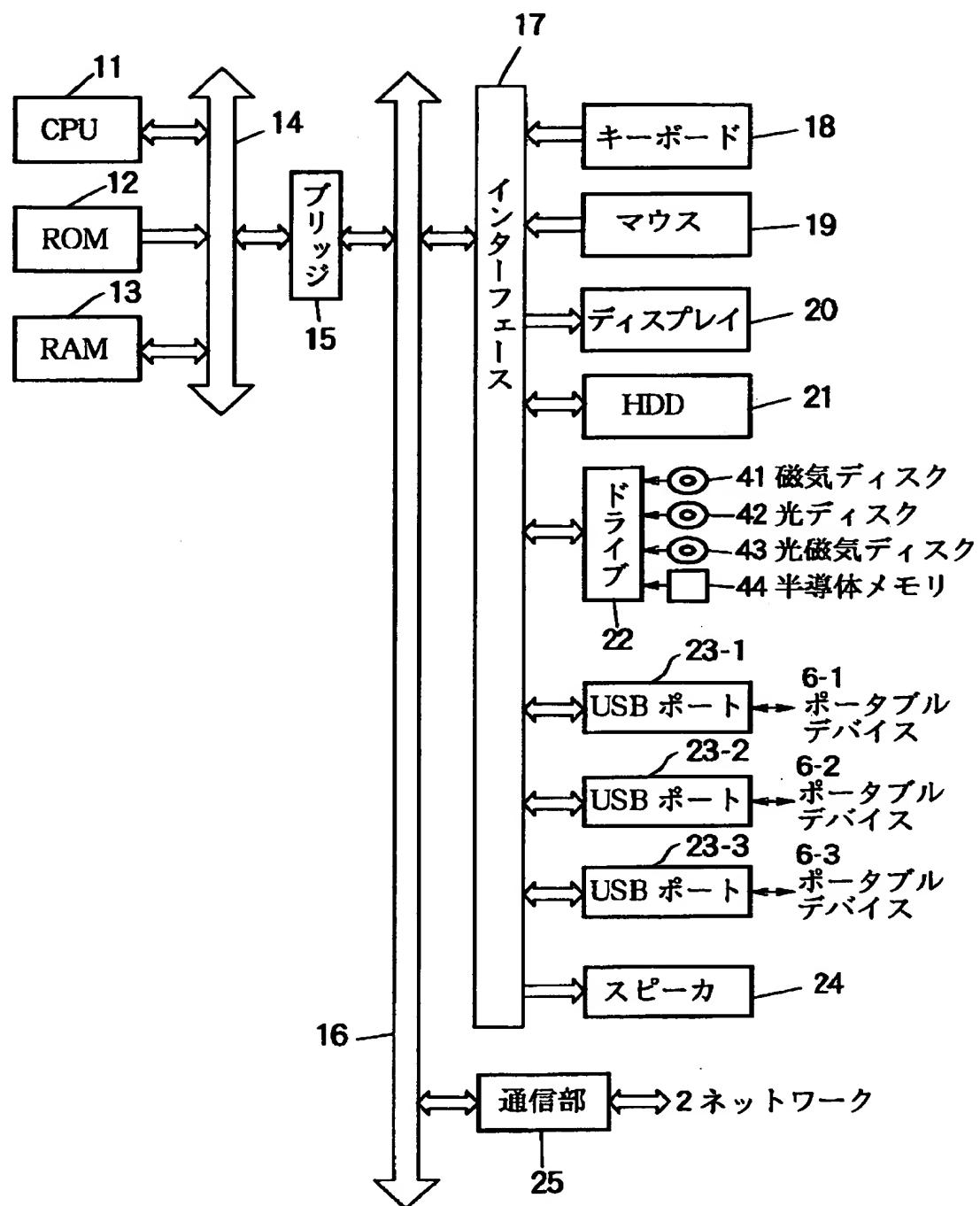
【図1】

図1



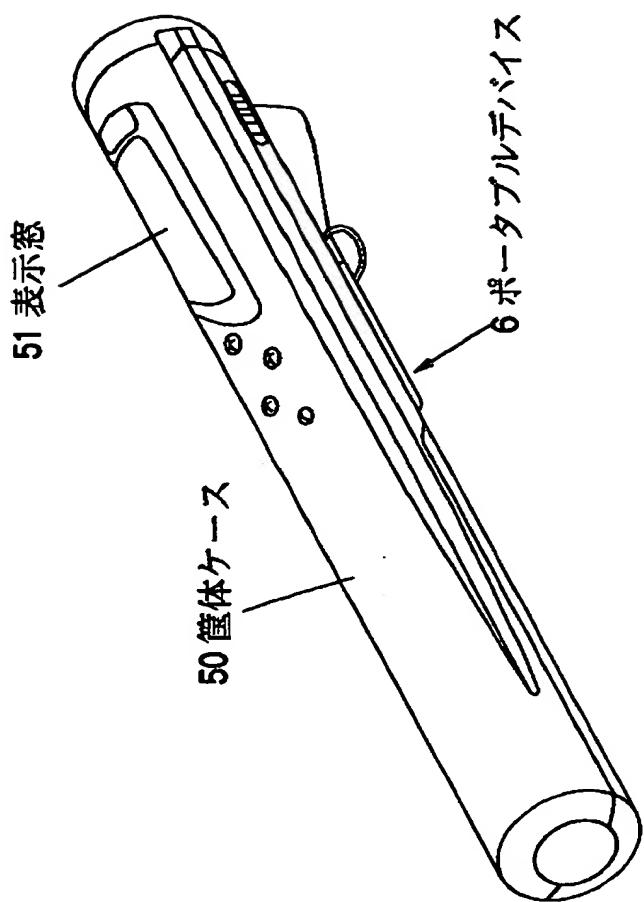
【図2】

図2



【図3】

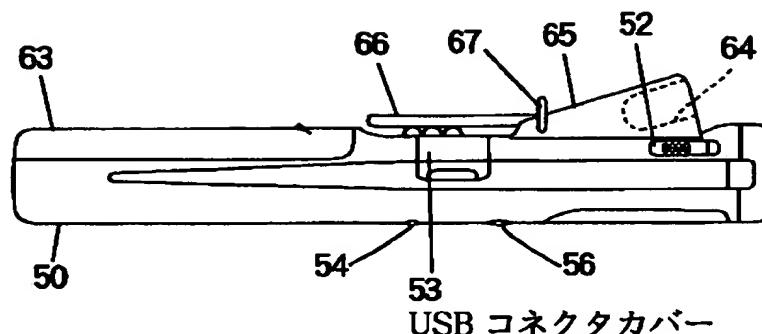
図3



【図4】

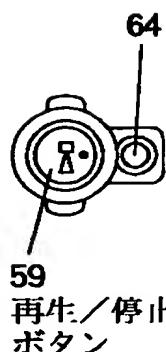
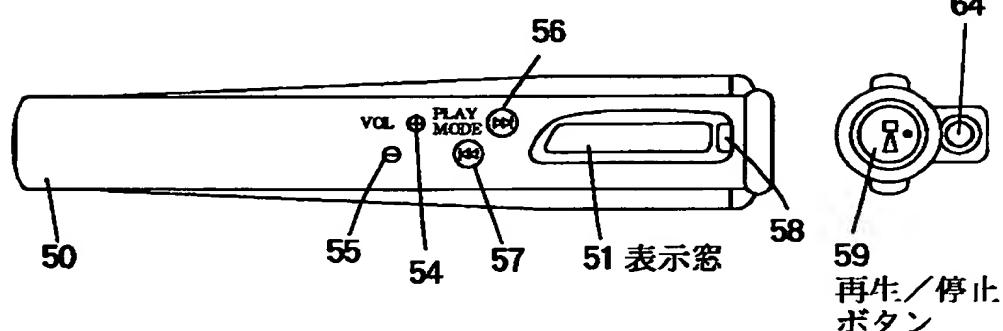
図4

(A)

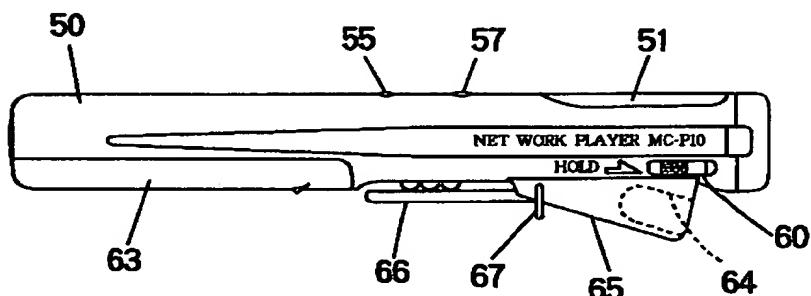


USB コネクタカバー

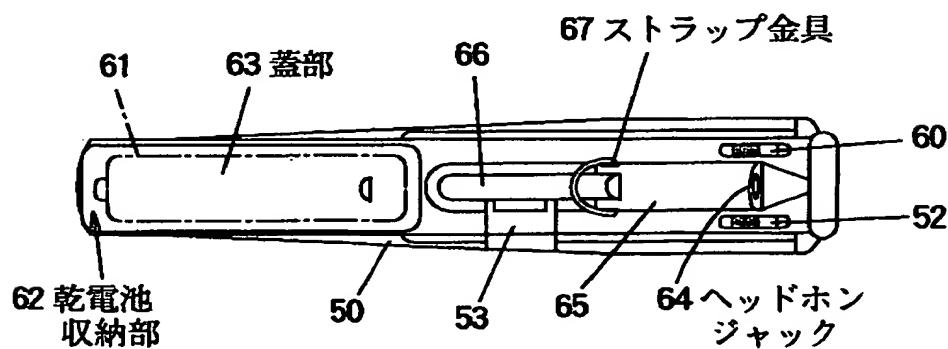
(B)



(C)

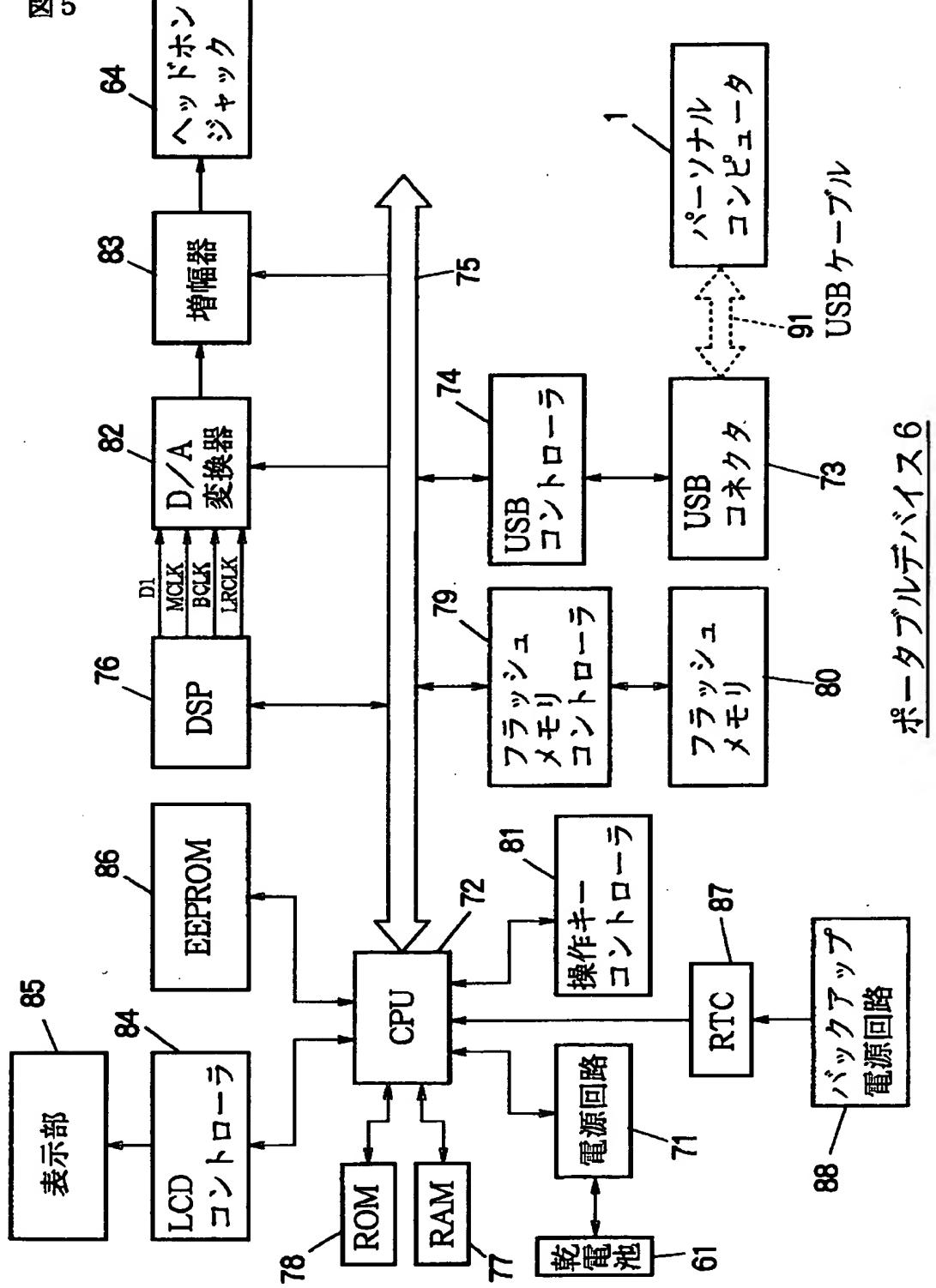


(D)



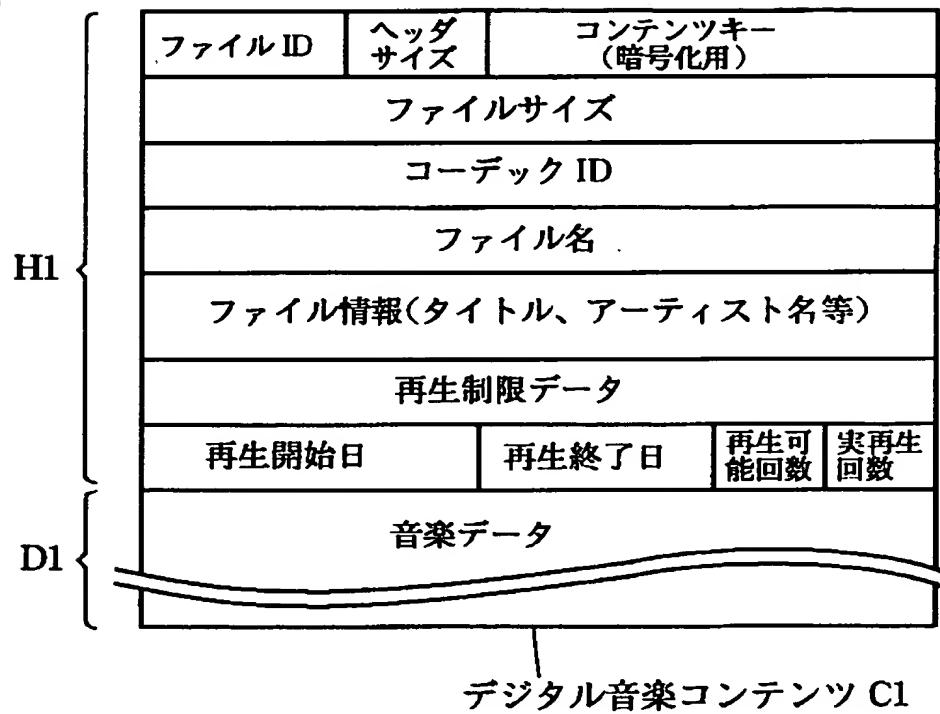
【図5】

図5



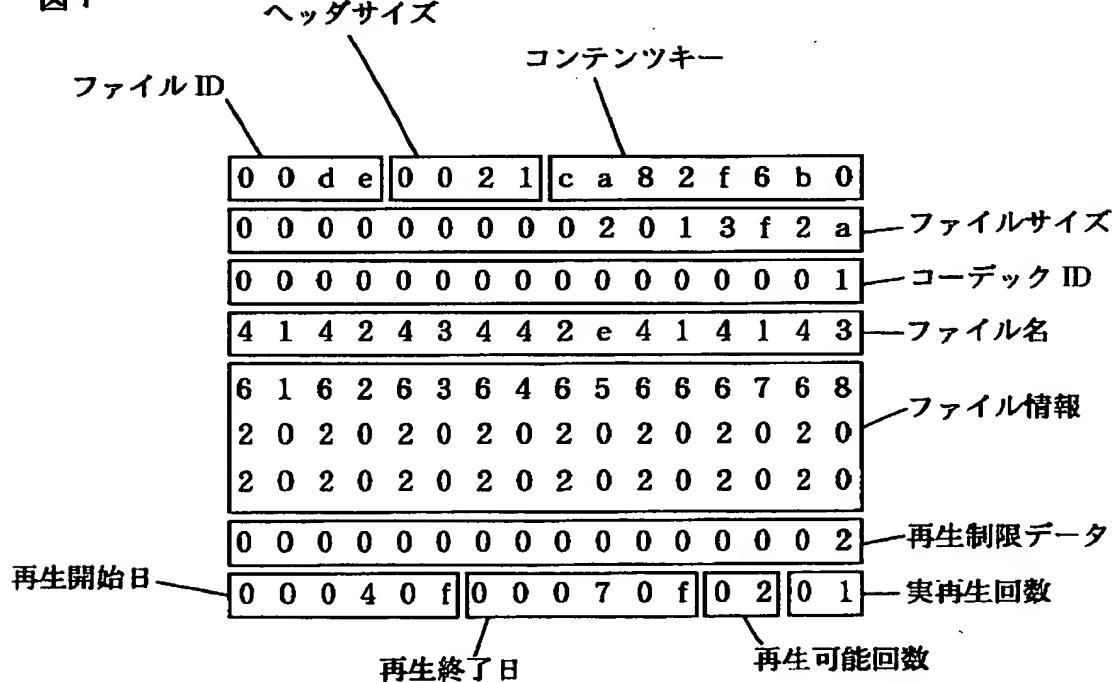
〔図6〕

图 6



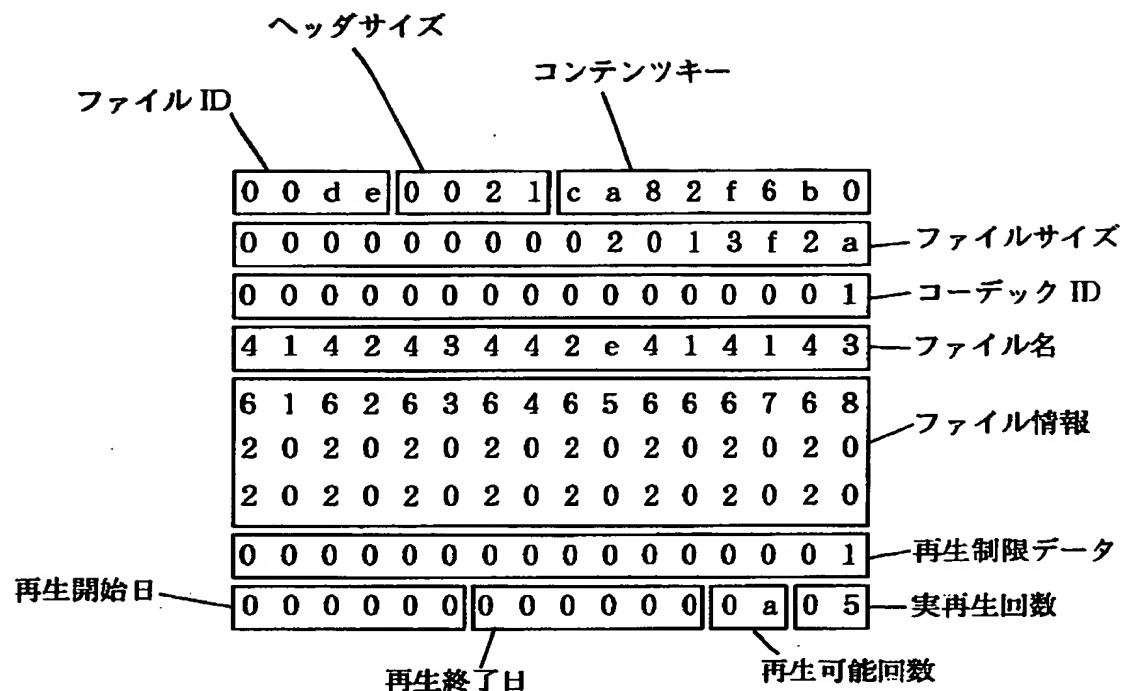
【図7】

图 7



【図8】

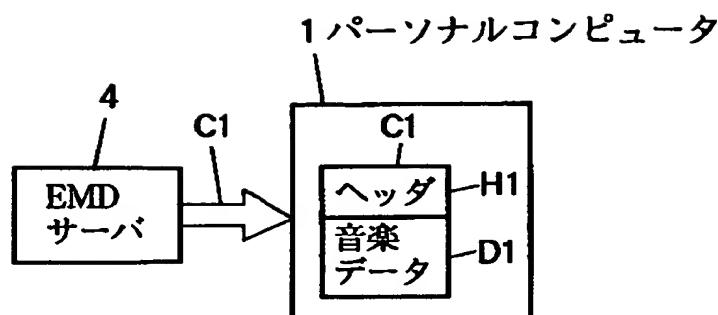
図8



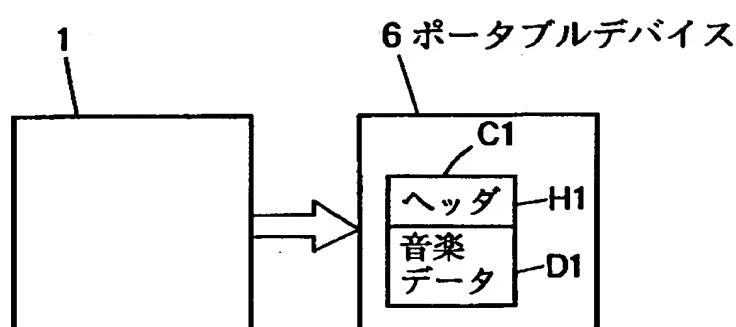
【図9】

図9

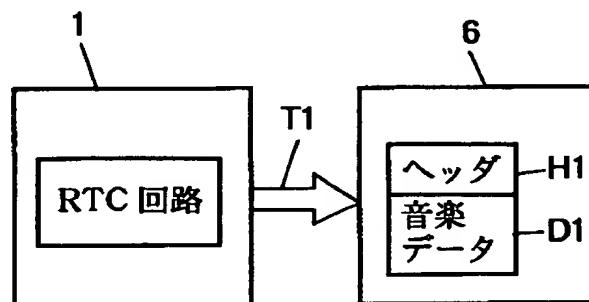
(A)



(B)

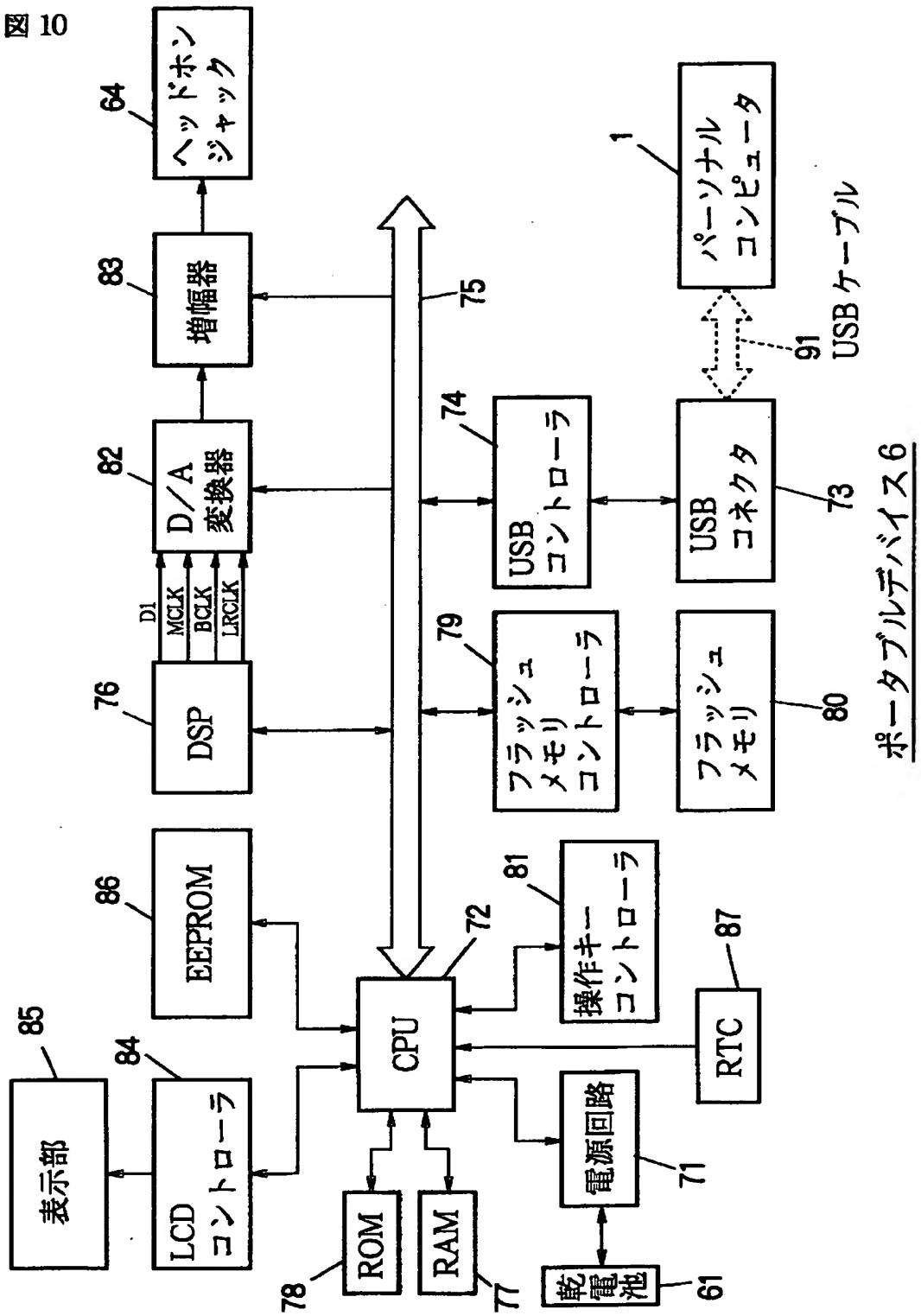


(C)



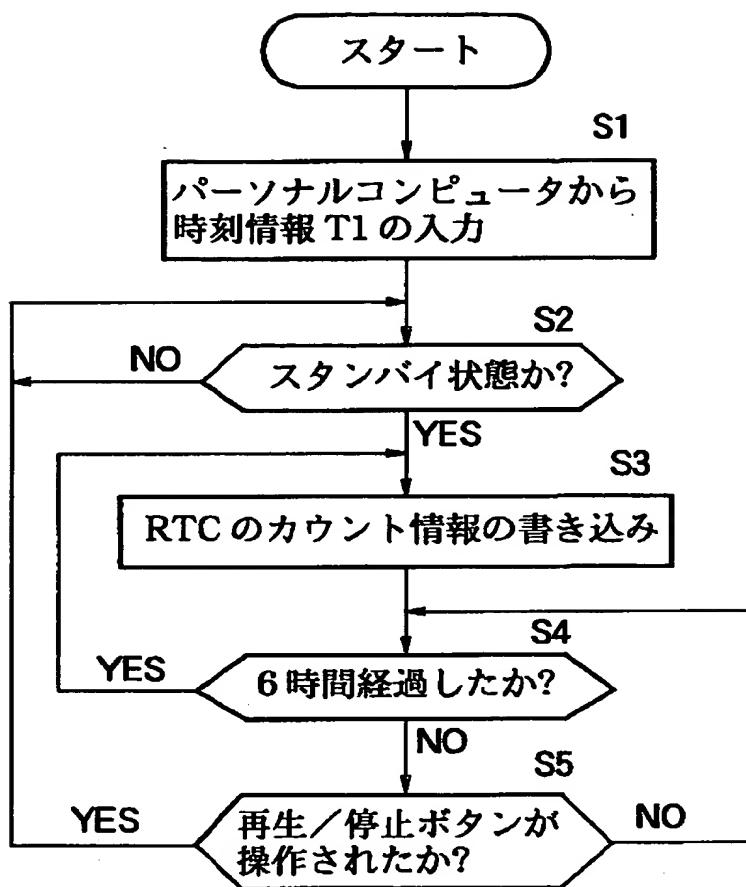
【図10】

図10



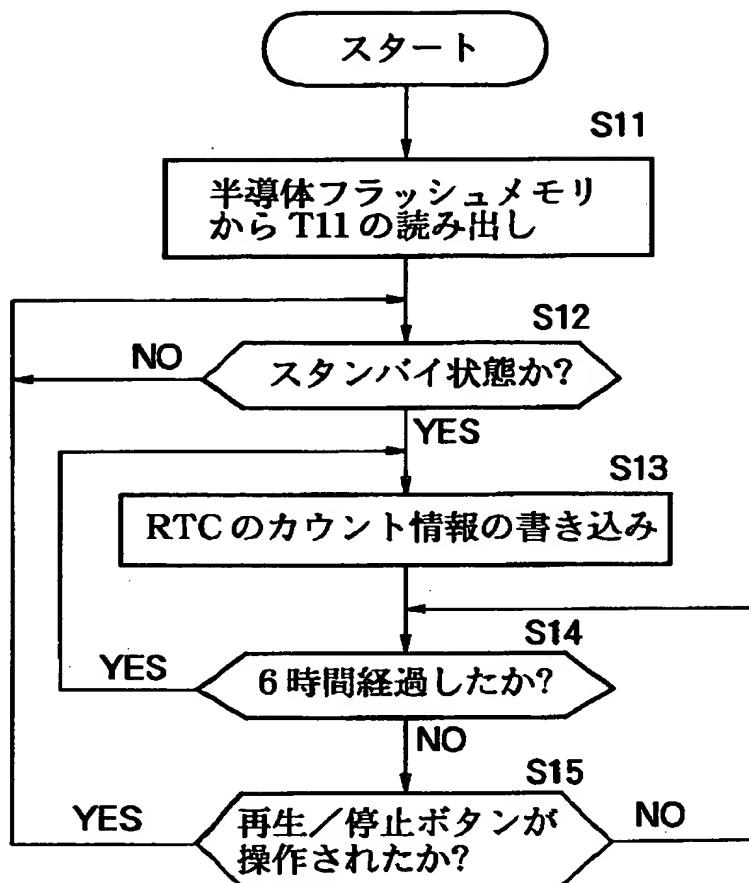
【図11】

図11



【図12】

図12



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 期限の制限付きのコンテンツの不正利用を防止する。

【解決手段】 パーソナルコンピュータなどに記憶されている期限の制限付きのコンテンツがポータブルデバイス6のフラッシュメモリ80に記憶される際、その時点での時刻情報Tも一緒に記憶される。時刻情報Tは、RTC87にも記憶され、RTC87は、その時刻情報Tを基準とし、継続的に時刻情報Tを更新していく。RTC87により更新された時刻情報Tは、所定のタイミングにおいて、フラッシュメモリ80にも上書きされる。乾電池61からの電力供給が一旦停止し、再び供給が開始された場合、フラッシュメモリ80に記憶されている時刻情報Tが、RTC87に供給され、その供給された時刻情報Tを基準として新たに時刻情報Tの更新が開始される。この時刻情報Tは、期限の制限が付いているコンテンツの管理に用いられる。

【選択図】 図10

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2001-207659
受付番号	50101003211
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成13年 7月12日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000002185
--------	-----------

【住所又は居所】	東京都品川区北品川6丁目7番35号
----------	-------------------

【氏名又は名称】	ソニー株式会社
----------	---------

【代理人】

【識別番号】	100082131
--------	-----------

【住所又は居所】	東京都新宿区西新宿7丁目5番8号 GOWA西 新宿ビル6F 稲本国際特許事務所
----------	--

【氏名又は名称】	稻本 義雄
----------	-------

次頁無

出願人履歴情報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏 名 ソニー株式会社